



2013.3 ザ・ラタ

The Lion Times Vol.9

地区スローガン

「**勇氣・真心** ウィ・サーブ」

地区ガバナーテーマ

「**前へ**」

ライオンズクラブ国際協会 337-D 地区ガバナー

【＝ライオンズの誓い＝ われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する】

■議案並びにアワード審議委員会



3月22日（金）鹿児島市（サンロイヤルホテル）において、議案並びにアワード審議委員会が地区ガバナーを委員会議長として14名の構成役員出席のもと開催されました。ご承知の通り、第59回地区年次大会ガバナーズアワード授与基準並びに各クラブより期限まで提出のあった申請書に基づき（対象期間／前年度3月～今年度2月末）、地区内各クラブの活動の集大成が公正に審議・審査がなされ無事終了いたしました。通知および表彰は以下の通りです。

（ ■4月5日／各クラブへ通知 ■4月27日／第59回地区年次大会にて表彰。）

○周年 記念式典・記念行事

【鹿児島黎明LC25周年記念式典】 ＝2013年3月24日（日）＝



3月24日 城山観光ホテルに於いて多数のご来賓並びに会員各位の祝意の中、記念すべきシルバーアニバーサリーである鹿児島黎明LC25周年記念式典が挙行了されました。四半世紀もの地域社会へ根差した奉仕活動はクラブの歴史そのもので、式典に先立ち開催された記念講演会も「青少年健全育成強化…夢 叶う」と題して、今なおバレーボールの普及活動に貢献している元バレーボール選手の大山加奈氏による講演はタイムリーなテーマとあって、たいへんな盛況ぶりでした。

(ライオンズクラブは、地域社会への身近な奉仕活動と国際的奉仕活動を行っています。)

■ 2月6日(水) 8日(金) 【鹿児島 R. 6 Z / 川内なでしこ LC】

EM 活性液作り

亀山小学校プールへ投入の為に、EM 活性液を作った。例会終了後、クラブ事務所においてペットボトル(2ℓ) 50本の EM 活性液ができた。それぞれ自宅に持ち帰り、発酵させ4月3日に亀山小学校プールに投入予定である。

(2月6日)



ペットキャップ送付



会員が持ち寄ったペットキャップを誠建設様へ搬入した。後日、NPO 法人エコキャップ推進協会「ECO CAP」へ送っていただいた。総量 53.5 kg だった。発途上国の子供たちのワクチンとして使われる。

(2月8日)

NPO 法人(内閣府認証)エコキャップ 推進協会 ECOCAP

＝地球に愛を 子どもに愛を＝

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

今回 23,005 個 / 累計個数 96,587 個 (ワクチン 117.3 人分)

■ 3月2日(土) 17日(日) 【鹿児島 R. 6 Z / 川内なでしこ LC】

川内医師会立市民病院「微笑みの園」花の植替え (参加者: 8名)

川内医師会立市民病院の中庭にある「微笑みの園」の花の植替えを行った。周りの草取りをした後、ビオラ、桜草など季節の花を植え、明るく春らしくなった。患者さんたちの癒しとなってほしいと願いながら。

(3月2日)



NHK「花は咲く」プロジェクト 寺山公園 (参加者: 6名)

東日本大震災から2年、復興への道のりは長い。仮設住宅にいながらも笑顔で過ごされている姿には、熱いものがこみ上げてくる。私たちのできることは何だろう。決して忘れてはならない。今回、NHK「花は咲く」プロジェクトに共感し、1人ひとり思いを込めて歌を歌い、ビデオ撮影しNHKテレビ局へ送った。私たちの歌声がテレビから流れ、聞いている方々の癒しになってほしい。

(3月17日)



■ 3月17日(日)【鹿児島R. 8 Z／始良 LC】

第 33 回 LIONS 杯争奪小学生サッカー大会 始良市／運動公園 グランド（参加者：5 名）



（選手団を前に主旨を話す LION。）



（桜も見ているキック・オフ）

始良市内の旧始良町の小学校4校（重富・西始良・始良・建昌）の生徒さんたちが日ごろの練習成果を競う大会は今年で33回目を迎えました。

6年生にとっては卒年大会で、小学生最後の大会となりました。

始良ライオンズクラブでは毎年支援金を贈り大会を支える傍ら、開会式での主旨伝達と大会の健全な運営を祈念し、今大会も成功裏に終了しました。

青少年育成委員会

（3月17日）



（会長より優勝旗の授与。）



（卒年生へ記念品の授与。）

沖縄 R.アクティビティ(活動)報告

■ 3月28日(木)【沖縄 R. 3 Z／沖縄 LC】

献血協力と啓蒙活動 サンエー那覇メインプレス（参加者：22 名）

この時期、特に不足しがちな献血（輸血用献血の確保が厳しい状況）の呼びかけを多くの人が集まるサンエー那覇メインプレス前の街頭でチラシを配るなど、献血に協力していただくためのキャンペーンを実施しました。

（3月28日）



冬期 YCE 派遣学生レポート

派遣先／マレーシア 12月20日(木)～1月8日(火)
(比嘉大士さん スポルサーC／浦添てだこLC)

(原文のまま)



私は、12月20日から1月8日までの3週間、マレーシアのパナン島にホームステイをしました。福岡空港で初めて他のYCEと会ったときには、みんなしっかりしてそうでとても安心しました。しかし、シンガポールのチャンギ空港でパナン行きの飛行機の場所を確認したが、いざ乗るときには乗る場所が変更となっておりとても焦ったがどうにかみんなで協力し時間通りに飛行機に乗ることができ安心しました。また飛行機では日本人の客室乗務員もいたので無事パナン島に着きました。私は、中国系の家族の家にお世話になりました。父、母、3男1女の6人家族でした。しかし、みんな仕事などで忙しく長男(22)と三男(14)がつきっきりで相手をしてくれました。私のホストブラザーは日本のアニメが大好きで私がわからないようなアニメも見せていたので驚きました。パナンについた日の夜に夕食に連れて行ってもらいました。日本でいうしゃぶしゃぶのようなものを食べさせてもらいましたが、口に合わずに苦戦しました。現地の人は、基本朝昼晩外食でした。食事のときにご飯を頼むと必ずタイ米が出てきました。タイ米はバサバサしておいしくはなかったです。逆に現地の人は、日本米はおいしくないと言っていました。パナンは海産物がたくさんあり、エビやカニ、大きな貝を食べることができました。現地の人は、辛いものがとても好きで、まだ、辛くするのかなと思うぐらい唐辛子のソースをかけ、考えられないほど辛い食べ物を食べていてとても驚きました。ホストファミリーに勧められて食べましたが、とても辛く食べることができませんでした。他に、ドリアンを食べましたが、テレビなどで見ていたとおりとても臭く、食べる気にはなれませんでした。一応勧められるままに食べましたが、とてもおいしいとはいえませんでした。

マレーシアは、いろいろな文化がありいろいろな宗教があったので、各宗教のお寺があり、日本では見られないようなお寺などもありました。私のホストファミリーは、仏教だったので日本にもあるようなお寺に行きました。一日自転車で回っただけで5つのお寺に行きました。パナンには、壁に絵が描かれていて楽しい町でした。パナンには、沖縄にはないような大きなショッピングモールがたくさんありました。ショッピングモールには、日本食もあり、味もおいしかったので、何回か行きました。

ホームステイをしている間に、クアラルンプールに5日間連れていってもらいました。パナンからクアラルンプールまではバスで5時間という長旅になりました。やっぱりマレーシアの首都だけあってパナンとは、比べ物にならないぐらい都会と感じました。クアラルンプールの町は那覇にはないような大きなビルや建物があり東京にきているような感じがしました。3日目には、行きたかったツインタワーにも連れて行ってもらったので大満足でした。クアラルンプールでは、おいしいご飯がいっぱいあったので口に合わないということがなかったのでずっとクアラルンプールにいたいと思っていました。

パナンは、リゾート地と聞いていたので綺麗な海を期待していましたが、思っていたよりも綺麗ではなかったのが少しがっかりしました。現地の人は、泳ぐのではなくマリンスポーツをして楽しむと言っていました。

ホームステイの終わりのころにパナンでキャンプに参加しました。私たち九州組みの他に中部組み約20人参加していたので、中部組みとも仲良くなることができました。同じ日本にいてもかかわらず、沖縄とは違う文化などもありマレーシア以外の文化も学ぶこともできました。キャンプでは、みんなで観光をしたりパナン市長にあたりなど内容の濃いキャンプとなりました。観光では、ホストファミリーとは行かなかったところなどにも行きさらにパナンが楽しいと思えました。キャンプの帰りには、中部組みと別れるのが寂しくなるほどでした。

マレーシアに行くことによって、普段の生活や文化、歴史、食文化など、日本では決してできない本当に貴重な経験ができました。日本にいて、普通に生活していることが普通ではなく当たり前ではないことに気づくことができました。そして多くの人に出会い多くの人にお世話になったおかげで楽しくマレーシアの3週間を過ごすことができました。また、ホストファミリーが、you tryと口癖のように言っていました。初めてのマレーシアで不安がたくさんあったけど、徐々になんでも挑戦しようと思うようになっていきました。

お世話になったホストファミリーの他、このような機会を与えてくれたライオンズクラブの方、福岡でサポートしてくれた佐藤さん、マレーシア現地のライオンズクラブの方のおかげで、マレーシアでの3週間は、とても楽しくまたいきたいと思えるような3週間になりました。

これからは、YCEのOBとしていろいろと協力していこうと思います。

本当にありがとうございました。